

## 防災の取組について

岐阜県立飛驒吉城特別支援学校

### 1 命を守る訓練（年3回）

第1回（4月）火災を想定

火災報知器が鳴った後、グラウンドに避難

第2回（9月）地震を想定

緊急地震速報の後、一時避難場所から二次避難場所へ移動する訓練として、古川小学校へ避難 ※今回、初めての試み



第3回（2月）冬季の非常時を想定して実施する予定

### 2 シェイクアウト訓練

Jアラート（緊急地震速報や弾道ミサイル情報）を聞き、「ダンゴムシのポーズ」で机の下に入って身を守る訓練を行った。いろいろな状況の中でも落ち着いて対応できるように、時間帯を変えて実施。

（担任以外の授業や昼休み、掃除の時間等）繰り返し訓練することで、低学年の児童も身を守る姿勢がスムーズにとれるようになっている。



### 3 引き渡し訓練（4月）

災害時に児童生徒を確実に保護者に引き渡すための訓練を行った。

#### 【実施方法】

- 1 PTA総会終了後、保護者に敷地外に出してもらう。（公営駐車場待機）
- 2 「すぐーる」で引き渡しの依頼を配信する。
- 3 学校に戻ってきた保護者に児童生徒を引き渡す。
- 4 保護者から帰宅確認の連絡を入れてもらう。

#### 4 非常食の確認

倉庫に児童生徒各自の非常食を3日分常備しており、学期ごとに保存期限の確認をしている。  
部や学年によって、非常食を試食し、変災時に実際に食べられるかどうかを確認している。

#### 5 授業における防災教育（主に生活単元学習）

小・中学部 ・NHK for school を利用して動画を視聴（自分の身の守り方など）

高等部 ・学校や自宅以外で地震等が起きたときの行動について考える

・車いすの生徒は、ベルカ（救護用担架）を利用した避難方法を体験



#### 6 PTA防災委員会の取組

・防災委員会のメンバーが、校内に保管している防災備蓄用品の確認を行った。

（使用方法、期限、管理状態の確認）



・1/30に飛騨市危機管理課の方をお願いしてPTA防災研修会を実施する予定

（内容：変災時の避難所体験）